



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月26日（水）



久しぶりの快晴です。風は初冬を思わせる冷たさですが、日差しはとても暖かく感じられます。子供たちも、朝から校庭で元気に遊んでいました。少し前から咲いていたコスモスも、今日見てみると花の数がずいぶん増えていました。コスモスは、漢字で秋桜と書くくらいなので、秋を彩る花として誰もが知っているなじみ深い花です。公園や河川敷などでは、秋になるとコスモス畑になるところもよく見られます。本校のコスモスは、ちらほらといった程度なので、来年は少し見栄えがするように増やしていけるといいなと思っています。



1年生の今日の道徳は、努力と強い意志についての学習です。子供たちには、「がんばること」について勉強すると伝えます。担任が子供たちに対して「今がんばっていることはありますか。」と投げかけると、みんな勢いよく手を挙げます。「空中逆上がりをがんばっています。」「ダンスをがんばっています。」「スイミングをがんばっています。」「友達をつくるのをがんばっています。」などなど、一人一人がんばっていることがあります。

本時の教材文「こぐまのらっぱ」の主人公こぐまは、仲間と一緒に演奏会に向けて練習をしています。こぐまの役割は、らっぱです。一生懸命練習するのですが、ちっとも音が出ず、落ち込んでしまいます。授業では、この時のこぐまの心情について考えます。タブレットにある学習支援アプリ「スカイメニュー」にあるポジショニング機能を活用して、心情の視覚化を行いました。ポジショニング機能とは、画面に示されたマトリクスにドットを置いて自分の考えを視覚化するものです。「こぐまは、練習を続けるか、続けないか」について、自分の考えと近いところにドットを置いていきます。1年生ということもあり、ほとんどの子が「練習を続ける」にドットを置きました。これが高学年になっていくと、葛藤の場面がより深刻化していくので、「正しいとわかっているけど、実際にはできるかどうか…」という気持ちの揺れからマトリクスのどこにドットを置くか悩みます。0か100かではなく、グレーな心情を表現できるのがポジショニング機能の優れた点です。



こぐまは、こぐまのアドバイスもあり、練習を続けることでらっぱが吹けるようになりました。演奏会も大成功しました。子供たちからは、「こぐまさんは、練習を続けたからえらい。」「みんなにほめられてうれしそう。」「といった発言がありました。校内音楽会を間近に控えた1年生たちです。きっと、今の自分とこぐまの姿を重ね合わせたのではないのでしょうか。



明日(10/27)の「校長の目～西小日々通信～」はお休みします。